

■序章 新潟県中越大震災

小千谷市の被害の概要



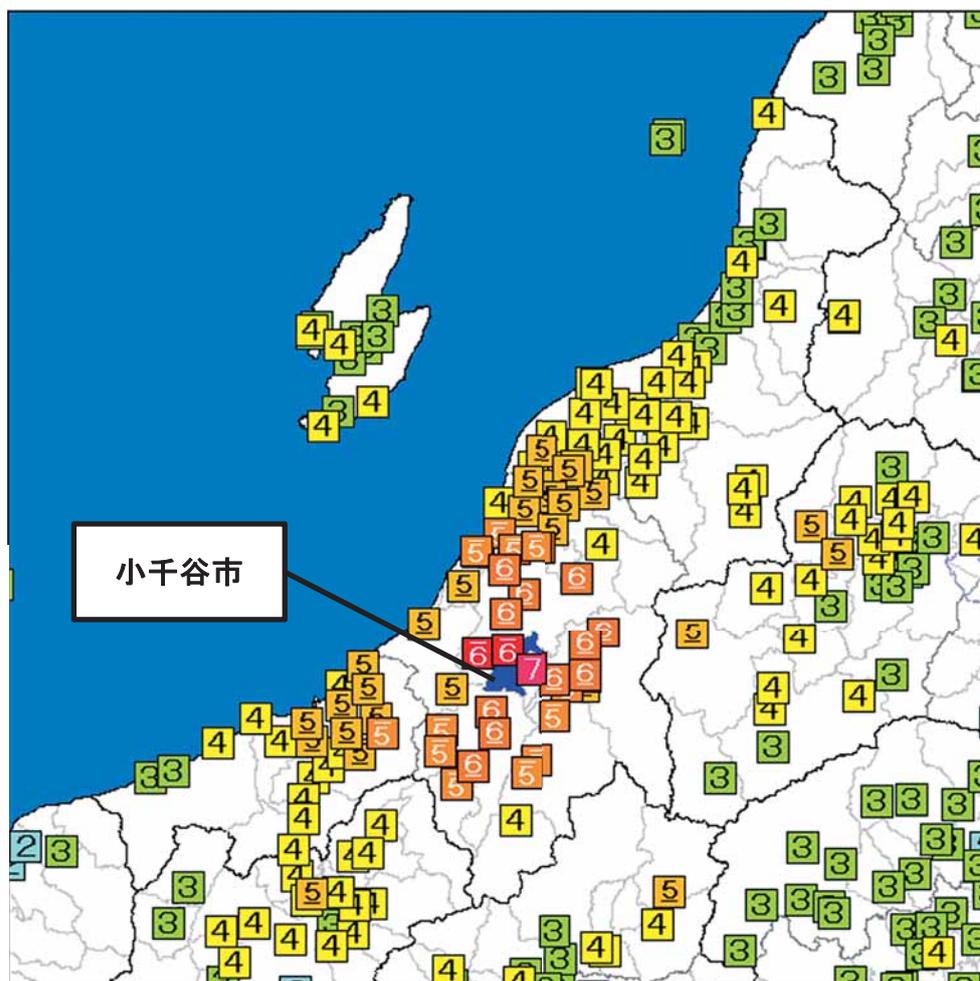
大きく崩落した国道117号（細島地内）



1 地震の概要

1. 地震の概要

- (1) 地震の名称 平成 16 年新潟県中越地震
- (2) 発生日時 平成 16 (2004) 年 10 月 23 日午後 5 時 56 分
- (3) 震源地 新潟県中越地方 北緯 37 度 17.5 分、東経 138 度 52.0 分
- (4) 震源の深さ 13km
- (5) 規模 マグニチュード 6.8
- (6) 最大震度 震度 7 (観測器による観測として初めての震度 7)
- (7) 影響範囲



(出典：気象庁 震度分布図 (新潟県中越地震))

- (8) 加速度 本震時 (10月23日午後5時56分) 1,722.0gal (川口観測点)
最大余震時 (10月23日午後6時34分) 2,515.4gal (川口観測点)
(小千谷市城内観測点は本震時 1,008.3gal、最大余震時 770.4gal)

2 被害の状況

(1) 市民生活への被害

人的被害 死者 19 名 (うち関連死 12 名) 負傷者 785 名
(中越全体：死者 68 名 重軽傷者 4,805 名)

(2) 都市機能への被害

- ①住宅被害 全壊 622 棟 大規模半壊 370 棟
半壊 2,386 棟 一部損壊 7,514 棟
- ②火災 1 件 2 棟
- ③道路被害 市道被災箇所 1,697 箇所 復旧工事費 4,918,695 千円
※約 2 ヶ年で復旧完了
- ④農林被害 農地及び農業用施設被害 937 件 復旧事業費 6,091,138 千円
林業施設被害 46 箇所 復旧事業費 597,071 千円
養鯉施設被害 154 箇所 復旧事業費 471,224 千円
- ⑤ライフライン
 - ・水道 給水不能戸数 13,446 戸
配水管事故率 0.462 件/1km
※平成 16 (2004) 年 12 月 15 日には復旧率が 97.58%に
 - ・ガス 供給停止戸数 約 12,000 戸
※平成 16 (2004) 年 12 月 15 日には供給停止戸数が 81 戸に
 - ・下水道 被災率 管路 18% マンホール 23.1%
※約 3 週間で応急復旧工事完了

(3) 産業への被害

- 建物被害 事務所・店舗 860 棟 (うち半壊程度 427 棟、全壊程度 104 棟)
工場 405 棟 (うち半壊程度 142 棟、全壊程度 37 棟)
倉庫 395 棟 (うち半壊程度 157 棟、全壊程度 57 棟)

3 緊急対策活動

- (1) 避難所 最大 136 箇所 (うち公的施設 42、町内集会施設 18、その他 76)
※当時の市指定避難所 64 箇所
避難者 29,243 名
※平成 16 (2004) 年 12 月 22 日
に全ての避難所を解消



農業用ビニールハウスで避難する住民 (池ヶ原)

- (2) 応急仮設住宅 最大 17 箇所 870 戸 入居者 684 世帯 2,328 人
平成 16 (2004) 年 10 月 28 日建設開始
11 月 17 日 1 次募集開始
12 月 25 日希望全世帯の入居完了
平成 19 (2007) 年 10 月 31 日全世帯退去完了

(3) 建物被害認定調査（1次調査）

調査期間：10月28日～11月15日

調査件数：住家 10,800 棟、その他 5,300 棟

(4) 建物被害認定調査（2次調査）

調査件数：4,504 件（うち再々調査以上 248 件）

(5) り災証明書 発行件数：16,310 件（平成 26（2014）年 4 月 1 日現在）

(6) 住宅応急修理制度 申請件数 1,701 件

(7) 被災者生活再建支援制度 申請件数 国制度 902 件 県制度 3,050 件

(8) 災害ボランティア活動者数累計 23,453 人

うち市内 263 人、市外 5,592 人、県外 17,598 人

（平成 16（2004）年 10 月 27 日～12 月 19 日、小千谷市社会福祉協議会調べ）



浦柄で活動する災害ボランティア

(9) 義援金 受入額 新潟県からの配分額 5,635,461,000 円

小千谷市受入額 421,930,000 円

配分額

区 分	新潟県分	小千谷市分
第 1 回配分額	2,634,050,000 円	280,700,000 円
第 2 回配分額	2,163,310,000 円	95,730,000 円
第 3 回配分額	596,960,000 円	—
第 4 回配分額	241,141,000 円	45,500,000 円
合 計	5,635,461,000 円	421,930,000 円

写真で振り返る10年

復興へのあゆみ(1)



水に浸かった浦柄町内



地盤が崩壊した水道施設(卯ノ木)



倒壊する吉谷公民館



養鯉施設で死んだ錦鯉



倒れた船岡公園の西軍墓地



国道117号山辺橋付近の欠壊(山本)



浮き上がるマンホール(千谷)

～被害の状況～

写真で振り返る10年

復興へのあゆみ (2)



小千谷高校グラウンドに設置されたテント



東小千谷中学校グラウンドでの避難の様子



総合体育館避難所の様子



復興シール販売開始



災害現場を視察する小泉総理大臣（当時）



千谷の仮設住宅入居の様子



豪雪で埋もれる仮設住宅

～計画策定前のあゆみ～

写真で振り返る10年

復興へのあゆみ (3)



仮設闘牛場で闘牛再開 (白山運動公園)



中越大地震ネットワークおぢや設立 (サンプラザ)



どぶろく特区第1号『徳五郎』のお披露目 (中山)



クラインガルテンふれあいの里オープン



ライオンズクラブによる中越大地震復興記念碑建立 (総合体育館)



震災から3年、結びの灯 (小千谷駅)



小千谷市民学習センター『楽集館』オープン



復興検証市民ワークショップ (短期) (サンプラザ)

～復旧段階から再生段階のあゆみ～

写真で振り返る10年

復興へのあゆみ (4)



ときめき新潟国体バレーボール競技（総合体育館）



震災から5年、追悼の集い（総合体育館）



そなえ館オープン



南小学校開校式



復興検証市民ワークショップ（長期）（サンブラザ）



市制60周年記念式典（市民会館）



総合支援学校開校式



震災復興市民植樹祭（山本山）

～再生段階から新生段階のあゆみ～

■年表で振り返る10年
「復興へのあゆみ」

年表で振り返る 10年「復興へのあゆみ」

区分	計画策定前																																						
	平成16年（2004年）										平成17年																												
	10月			11月				12月			1	2	3	4	6	7																							
主な出来事	23	24	26	27	28	30	31	1	2	5	6	8	10	15	17	21	23	25	29	3	10	15	19	22	20	27	28	5	1	2	4	20	31	1	10	5	27	28	19
	<p>新潟県中越大地震発生</p> <p>食糧配布開始 一部通電開始 災害ボランティアセンター設置 建物被害認定調査（一次）開始 ごみの一時仮置場を山本山に設置 救援物資の到着が最大に（400件） 小千谷総合病院の外来一部再開 ガス一部復旧 関越自動車道全線通行可能 天皇皇后両陛下が避難所ご訪問 市内全小中学校再開 学校給食再開 建物被害認定調査（一次）終了 応急仮設住宅入居申込開始 罹災証明書発行開始 合同慰霊祭 建物被害認定調査（二次）開始 時水清掃工場再開 仮設住宅入居開始 通常のごみ収集体制に移行（一部除く） 青年会議所による復興シール販売開始 災害ボランティアセンター解散 自衛隊撤収 JＲ上越線が全線復旧（一部単線） 避難所が全て解消 復興支援プロジェクト講演会 豪雪災害対策本部設置 山本山大橋開通 豪雪により、仮設住宅除排雪のため自衛隊派遣要請 若柝小学校閉校 第一回復興計画ワークショップ 豪雪により、仮設住宅除排雪のため自衛隊派遣要請 山古志村、小国町が長岡市に合併</p>																																						

区分	中期（再生段階）																														
	平成20年（2008年）					平成21年（2009年）					平成22年（2010年）					平成23年															
	1	3	5	6	8	10	2	3	4	9	10	3	3	4	6	7	10	11	11	1	2	3	4	5							
主な出来事	26	25	31	31	1	10	14	1	23	15	31	12	1	30	2	23	25	30	31	28	4	4	23	26	14	3	27	26	11	1	15
	<p>復興検証市民ワークショップ 巫女爺人形操りが県無形民俗文化財に指定 市民体育館閉館 東山保育園休園 復興支援室を設置 市議会本会議インターネット中継開始 市民学習センター「楽集館」オープン 震災から四年・復興祈念式典 小雪のため市民スキー大会中止 山谷小学校閉校 東小千谷防災センター竣工 ときめきめぐりあい事業「お世話志隊」任命式 小千谷縮、ユネスコ文化遺産登録 トキめき新潟国体バレーボール競技開催 震災から五年・追悼の集い開催 小千谷復興祈念コンサート JＲ東日本と共生協定書締結 信濃川右岸堤防改修 眞人北部水道開通 口蹄疫問題のため闘牛開催中止 震災から六年 第四次総合計画後期基本計画策定 谷井靖夫市長再選 小千谷小学校改築竣工式 豪雪災害対策本部設置 おぢやイメージキャラクター「よし太くん」誕生 ゴミ処理有料化スタート 自治体スクラム支援会議結成 東日本大震災発生</p>																														

短期（復旧段階）																																						
（2005年）					平成18年（2006年）								平成19年（2007年）																									
7	8	9	10	12	1	2	3	4	5	6	7	10	11	12	1	3	4	5	6	7	9	10	11	12														
22	1	6	8	21	16	23	25	26	13	20	10	29	1	10	14	21	4	16	15	23	29	3	24	24	25	31	1	1	3	4	16	22	23	31	31	4	16	県道川口岩沢線復旧開通 小千谷闘牛場前の大岩の愛称が「みまもり岩」に決定 災害対策本部解散 仮設住宅閉鎖 おぢやファンクラブ設立 震災から三年・復興祈念式典開催 総合体育館に中越大震災復興記念碑を建立 自主防災組織連絡協議会設立 三年ぶりに小千谷闘牛場での闘牛開幕 クライנגアルテンふれあいの里オープン 池ヶ原小学校閉校 妙見の県道小千谷長岡線が復旧開通 どぶろく特区第一号「徳五郎」お披露目 仮設住宅を六カ所に集約 災害公営住宅（千谷、千谷川）入居開始 谷井靖夫市長就任 震災から二年・復興祈念式典開催 総合防災訓練を東小千谷地区で実施 塩谷に中越大震災の慰霊碑建立 十二平町内、集団移転開始 小栗山での闘牛再開 長岡地域信濃川水防訓練を三仏生地内で実施 避難勧告全地区解除 災害公営住宅（木津）入居開始 東山小学校、自校での授業再開 三仏生地地区住宅移転用地竣工 第四次小千谷市総合計画策定 豪雪災害対策本部設置 塩谷町内避難勧告解除 中越大震災ネットワークおぢや設立 震災から一年・震災合同追悼式典 船岡公園の戊辰戦争西軍墓地修復、復興のモニュメント除幕 十二平町内、三仏生集団移転決定 小千谷市消防団功労者内閣総理大臣表彰 市民プール復旧再開 錦鯉の里復旧再開 東山地区五町内の避難勧告解除
										トリノオリンピック開幕																												
										新潟市、政令指定都市に 能登半島地震 新潟県中越沖地震																												

長期（新生段階）																										
（2011年）				平成24年（2012年）					平成25年（2013年）					平成26年（2014年）												
6	7	10	12	1	3	9	10	12	2	3	4	7	8	10	2	3	4	5	6	7	9	10				
1	29	23	1	31	28	1	23	30	21	31	1	1	11	19	23	11	10	1	18	1	13	27	18	19	23	震災から10年「中越大震災の日」制定 小千谷復興感謝祭おぢや元気フェスタ開催 小千谷杉並交流コンサート 小千谷薪能 天皇皇后両陛下がそなえ館へ視察 震災復興市民植樹祭 総合支援学校開校 市制施行60周年記念式典 市民ワークショップ 震災から九年 新病院名称決定 復興検証こともワークショップ開催 浦安市との災害協定締結 地域おこし協力隊着任 南小学校開校 南部地区四小学校閉校 豪雪災害対策本部設置 日立市との災害協定締結 南相馬市との災害協定締結 新潟県ドクターヘリ運航開始 震災から八年 病院統合支援室設置 長岡技術科学大学と原子力安全対策支援パートナー協定締結 豪雪災害対策本部設置 FMながおか小千谷市からのお知らせスタート そなえ館オープン 震災から七年 新潟・福島豪雨災害 FM新潟こいこいおぢやプログラムスタート 地上デジタル放送完全移行
										ロンドンオリンピック開幕 東京スカイツリー開業 富士山、世界遺産に登録 東京オリンピック開催決定 ソチオリンピック開幕 御獄山噴火																

